

フィリピン・プライベート英語研修&ドミトリーステイ



優しい先生方が親切に指導

プログラム参加費 306,000円

旅行代金 86,000円

期間 2017年3月26日(日)~4月3日(月)
* 出発日の前日は、事前研修会です対象・定員 高校1年生~高校3年生
* 入国日が16歳以上 10名(最少催行5名)

場所 セブ島(マンダウエ市),マクタン島

協力 ブリリアントセブ・イングリッシュアカデミー

利用航空会社 フィリピン航空

*プログラム参加費・旅行代金の詳細は『研修概要』の項目をご参照ください

プログラム

- 3/25 (土) 夕刻 事前研修会
 3/26 (日) 午後 成田空港出発(直行便)
 夜 セブ空港着、ドミトリーへチェックイン
 3/27 (月) 午前 カンセーション、レベル分けテスト
 午後 ショッピング

3/28 (火)

【モデルスケジュール】

- 7:00 起床
 7:30 朝食
 8:00 1時間目(プライベート)
 9:00 2時間目(プライベート)
 10:00 3時間目(プライベート)
 11:00 4時間目(グループ)
 12:00 昼食
 12:40 5時間目(プライベート)
 13:40 6時間目(プライベート)
 14:40 7時間目(プライベート)
 15:40 8時間目(グループ)
 17:00 宿題タイム
 18:30 夕食
 19:30 シャワー
 22:00 就寝

*金曜は午後レベルチェックテストと修了式(日本文化紹介)があります

- 4/1 (土) 終日 マクタン島のビーチとプール訪問
 (ホテル泊)
 4/2 (土) 終日 マクタン島のビーチホテルで自由行動
 (ホテル泊)
 4/3 (月) 午前 セブ空港出発(直行便)
 午後 成田空港到着、通関後解散

*天候等によりスケジュールが変更になる可能性があります。



英語研修の後には、ビーチリゾートのホテル滞在

特色

- ドミトリーは2名1部屋(男女別)
- 先生とプライベート授業(1対1)が1日5コマとグループ授業(2~3名)を1日2コマを受けます
(トータル42時間の授業と、宿題が8時間。合計50時間)
- 授業内容は、各自レベルに合ったトピックを先生が準備
- クララム・カフェリア・ドミトリーと同じ建物内で移動がスムーズ

現地情報

気候 : 乾季ですので、カラッとした過ごしやすい日が続きます。

気温 : 最高気温 31℃ 最低気温 24℃ (3・4月)

時差 : 日本が1時間進んでいます。

現地通貨 : フィリピンペソ



ドミトリーのベッドルーム



校内の日本文化紹介



マンツーマンで個々のレベルに合った授業



徒歩5分のスーパーには珍しいフルーツが！

体験記

愛媛県 高1 男子

僕は、このフィリピンの研修を一言では表せないくらい楽しくて、思っていたよりも何倍も何倍も充実して、楽しい研修でした。自分は初対面で話せるのか、すんごい不安でした、と言うより不安しかありませんでした。リーダーもみんなもフレンドリーで、優しくだったので救われました。「ガチガチの英語勉強か…」と思ったのですが、いざフィリピンに行くとそんなことはありませんでした。自分は一応英会話に行っていて「英語とか話せるし」と思っていたのですが、最初のテストで自分の自信完全崩壊。それでも先生が超優しいし、親切だったので会話はできました。ここで私は「笑顔」に目覚めまして、帰る日の前の授業まで、授業中はずっと笑顔でいました。自然と良い雰囲気してくれるんですよ、笑顔が。2日目くらいからは慣れてきてジョークとかも言えるようになりました。楽しい日はあっという間でほんとは一瞬でした。1つ最大のミスがありまして、それは最後にやった日本文化紹介です。前日に絵を描いていたのですが、自分の英語力がなく…いや、でもみんなのインパクトでカバー！！一生忘れられないくらい楽しい研修でした。本当にありがとうございました。こんなに仲良くなれるなんて思ってもいなかったし、多分英語も話せるようになっていっているでしょう。またみんなで行きたいです。ありがとうございました。

体験記

青森県 高2 女子

学校はクラスルームもカフェテリアもドミトリーも全て1つの建物にあり、移動時間が短く、勉強するにあたってとても適している環境だと思いました。1コマ50分を8コマ受ける初日は、英語を英語で教わる授業へ変わった事で、とても混乱しました。発音を意識しないと、言おうとしている意味とは違う意味で伝わってしまう、集中していないと聞き取れない、思っている事を即座に文章にして伝えられない等、言葉の壁を感じました。ですが、先生方が私にもわかるように、ゆっくりと言葉を選びながら話してくれた事で、日を追うごとに話している事がわかるようになり、伝わりにくいことはジェスチャーを加えながら話すことで、思っている事を伝えられるようになりました。授業中や休み時間も自分から話題を持ちかけたりして、フィリピンと日本の文化や生活の違いや人々の特徴や性格、英語教育や学校の事、将来の話等もする事ができました。これからの英語の勉強方法について話した時、日本の学校で教えられる事とは異なる勉強方法を沢山教えてもらいました。スピーキング・リスニングを重視した勉強方法で、洋楽を歌詞や発音に注意しながら聴く事や、洋画を見る事、外国の方が話す時に口の動きを見る事等、今まで、リーディング・ライティング・グラマーを中心に勉強して、つい後回しにしてきた勉強の仕方を教わりました。この研修では、自分の語彙力の無さを痛感し、なおかつ英語を日常的に使うにあたって発音も重要だということを知りました。印象に残った事は、現地の先生方の温かさや優しさをととても感じた事です。先生から「私はあなたの先生だけれど、あなたの1人の友達でもある。フィリピンにあなたの友達がいる事を忘れないでね。」という言葉を買ったのが本当に嬉しかったです。先生方と話して、英語は世界の人人々と繋がる手段であり、日本人ももっと世界で意見を発し、活躍する存在にならないといけないと思いました。感謝の気持ちとフィリピンでの体験を自信に繋いで、これからの英語の勉強や普段の取り組み姿勢、考え方に活かしたいです。